

指 示

令和 6 年 2 月 2 6 日
厚年指 2024-24

健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更の取扱い

情報提供先	相談センター <input type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input checked="" type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
目的・趣旨	健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更の取扱いについて、厚生労働省年金局から疑義照会の回答がありましたので、その内容及び対応方法をお知らせします。			
指示の内容	<div>1 疑義照会の回答の概要</div> <p>健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更の取扱いについて、「厚生年金保険における随時改定に該当しない場合であっても、健康保険における算定月額による等級と現在の等級との間に 2 等級以上の差が生じている場合には、厚生年金保険においても随時改定を行うべきもの」と示されました。詳細は別添 1 のとおりです。</p> <div>2 届出時の案内</div> <p>健康保険組合加入事業所から、厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更届について相談があった場合は、健康保険組合で決定した健康保険の標準報酬月額を確認するため、日本年金機構（以下「機構」という。）に月額変更届を提出する前に、健康保険組合に月額変更届を提出し、機構に提出する月額変更届には健康保険組合の標準報酬月額決定通知書の写しを添付するよう案内してください。</p> <p>また、月額変更届の審査時に 1 次審査の省略（スキップ）とならないよう機構に提出する月額変更届は紙届書で提出いただくよう案内してください。</p> <div>3 月額変更届の入力方法等</div> <div>（1）記録の確認</div> <p>月額変更届に健康保険組合の標準報酬月額決定通知書の写しが添付されている場合、届出の内容及び被保険者の記録を確認し、月額変更処理を行ってください。</p> <div>（2）厚生年金保険標準報酬月額が同等級時の取扱い</div>			

	厚生年金保険における従前報酬月額と改定後の標準報酬月額が同等級の場合は、システム登録できないため、事務処理手順等を別途お知らせします。事務処理手順等をお示しするまでの間にシステム登録できない月額変更届の提出があった場合は、照会先にご連絡ください。
(注意点)	厚生年金保険部に連絡が必要な事案はシステム登録できない事案のみとなります。システム登録可能な事案は通常どおり処理を進めてください（別添 3 参照）。
別添資料	【別添 1】年金局への照会内容及び回答 【別添 2】健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更で入力できない事例 【別添 3】健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更で入力可能な事例

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象☐

疑義照会(回答)

(案件)

厚生年金が最高等級の被保険者の月額変更

(内容)

健康保険組合に加入している被保険者の月額変更について、以下のケースの場合、厚生年金が令和 4 年 6 月及び令和 4 年 7 月改定に該当するのか過去の疑義照会 No.2010-293 より判断ができないためご教授ください。

【厚生年金】

R3. 9. 1 算定 650 (662) 千円

R4. 9. 1 算定 620 千円

【健康保険 (組合)】

R3. 9. 1 算定 650 千円

R4. 6. 1 月変 710 千円

R4. 7. 1 月変 620 千円

(回答)

随時改定については、健康保険法第 43 条第 1 項及び厚生年金保険法第 23 条第 1 項において、報酬月額に著しく高低を生じた場合に行うこととされており、具体的には、「健康保険法及び厚生年金保険法における標準報酬月額の定時決定及び随時改定の取扱いについて」(昭和 36 年 1 月 26 日付け保発第四号)に基づき、「昇給又は降給によって健康保険法第 43 条第 1 項又は厚生年金保険法第 23 条第 1 項により算定した額(以下「算定月額」という。)による等級と現在の等級との間に 2 等級以上の差を生じた場合」等に行っているところである。

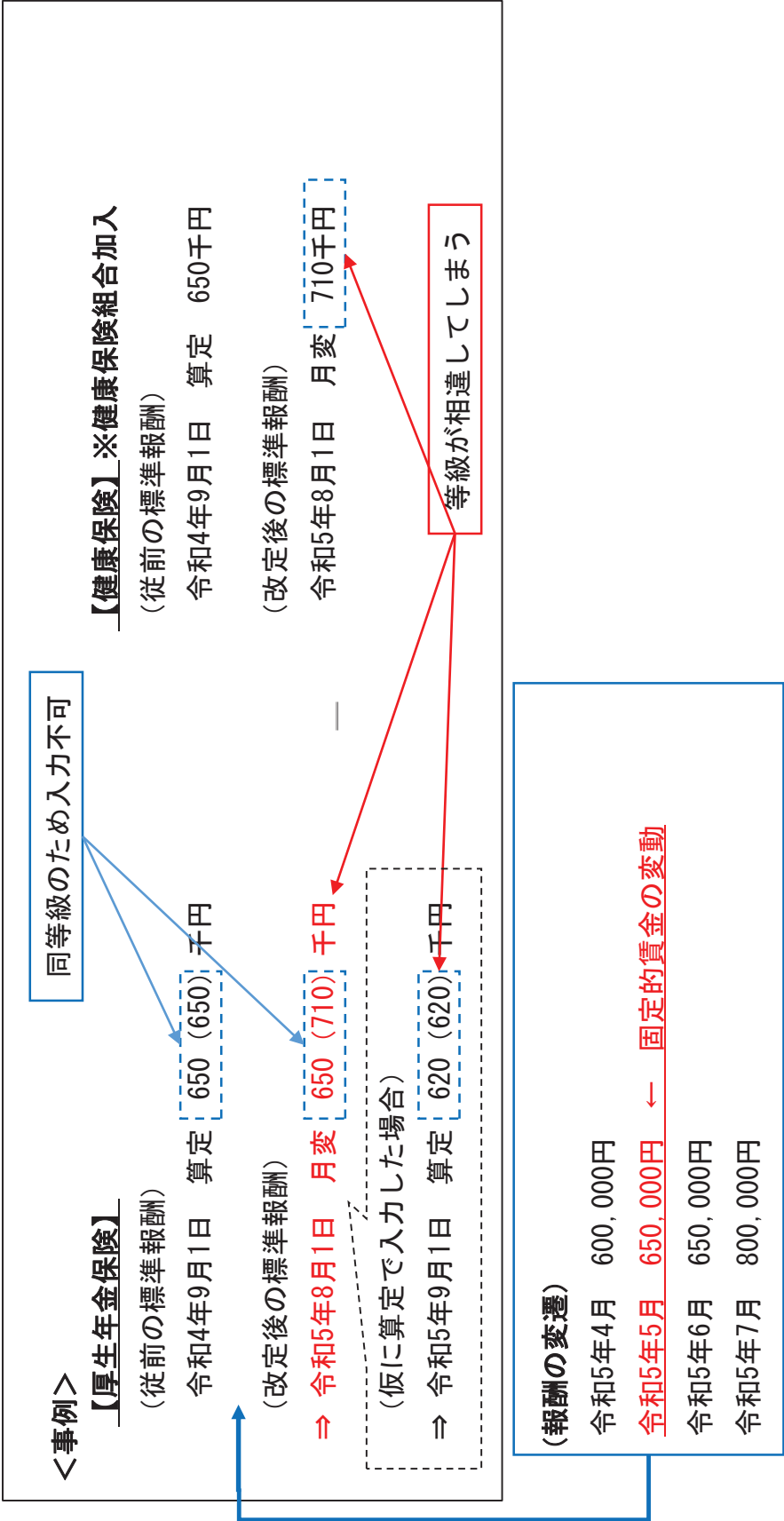
当該事例のように、厚生年金保険における標準報酬月額が最高等級又は最低等級にある場合であって算定月額による等級と現在の等級との間に 2 等級以上の差を生じていない場合であっても、健康保険における算定月額による等級と現在の等級との間に 2 等級以上の差が生じている場合には、厚生年金保険においても随時改定を行うべきものと解される。

そのため、当該事例については、上記通知における随時改定を行う場合に該当するものとして、令和 4 年 6 月及び令和 4 年 7 月に随時改定の対応を行われたい。

なお、本件については保険局保険課と協議済みであることを申し添える。

健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更で入力できない事例

- 健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額に等級差がない月額変更記録はシステム登録することができない。
- 下記の事例の場合、令和5年8月1日の月額変更が必要となるが、従前の厚生年金保険標準報酬月額と差がないため、入力することができない。
一方で、令和5年9月1日の算定で入力した場合、本来の標準報酬月額と相違してしまう。
- 事務処理手順等を示すまでの間に当該事例と同様の届出があった場合は、厚生年金保険部に連絡すること。



健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更で入力可能な事例

- 健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更であっても等級差がある月額変更記録は登録が可能。

<p>＜事例 1＞2等級以上の等級差がある場合</p> <p><u>【厚生年金保険】</u> (従前の標準報酬) 令和4年9月1日 算定 650 (650) 千円 (改定後の標準報酬) ⇒ <u>令和5年8月1日 月変 590 (590) 千円</u></p> <p>届書コード「221」により処理</p>		<p><u>【健康保険】※健康保険組合加入</u> (従前の標準報酬) 令和4年9月1日 算定 650千円 (改定後の標準報酬) 令和5年8月1日 月変 590千円</p>	
<p>＜事例 2＞1＞1等級差の場合</p> <p><u>【厚生年金保険】</u> (従前の標準報酬) 令和4年9月1日 算定 650 (710) 千円 (改定後の標準報酬) ⇒ <u>令和5年8月1日 月変 620 (620) 千円</u></p> <p>届書コード「221」により処理</p>		<p><u>【健康保険】※健康保険組合加入</u> (従前の標準報酬) 令和4年9月1日 算定 710千円 (改定後の標準報酬) 令和5年8月1日 月変 620千円</p>	

健康保険組合加入者の厚生年金保険標準報酬月額が最高等級又は最低等級時の月額変更で入力可能な事例

＜事例2－2＞1等級差の場合

【厚生年金保険】

(従前の標準報酬)

令和4年9月1日 算定 650 (空欄) 千円

(改定後の標準報酬)

⇒ 令和5年8月1日 月変 620 (620) 千円

【健康保険】※健康保険組合加入

(従前の標準報酬)

令和4年9月1日 算定 710千円

(改定後の標準報酬)

令和5年8月1日 月変 620千円

届書コード「221-1」により処理